



堀川季延 議員

支援スタッフについて

**問** 現在、雇用している支援スタッフの雇用期間3年の期限の長期化の考えはどうか。また、施設管理サービスク社解散後における公社採用の3年期限付職員（幼稚園教諭、保育園保育士）の今後の採用方針についてお伺いしたい。この3年の期限が短いため、募集しても応募が少なく、再募集しなければならぬ状況が見られる。予定どおり配置できるように、更に知恵をしばっていたきたい。

**平岡町長** 現在雇用している支援スタッフについては、できるだけ多くの方々に就労の機会を得ていただくということから、3年を期限としております。

この期間については、雇用の際に説明し、本人の了承もいただいております。3年後には職種を変えての応募も可能であり、多くの新しい人材を確保して参りたいと存じます。今後も、現在の方法を継続いたし



ます。  
次に、サービス公社採用の期限付き職員ですが、今後は、正規採用職員の採用と臨時職員の雇用については、子どもの動向、施設の統廃合、幼保一体及び国の助成方針等を考慮しながら、考えて参ります。

自転車の利用環境の整備について



吉村真弓美 議員

**問** 地域環境に優しい「エコ」への関心や、健康志向の高まりなどから、自転車を利用する人が増えている。しかし一方で、自転車が関連する交通事故の割合も増加傾向であり、専用道路などの対策が急がれる。自転車の利用環境整備を整えることが安心安全の町づくりの観点からも重要な課題ではないのか。

**平岡町長** 環境重視型の道路づくりも時代のニーズにより必要な要件と考えている。まず、既存の道路をどのように区分けしていくかなどを検討する。

ドッグランの設置について

**問** 動物との触れ合いは、人間同士の触れ合い以上に人の心にいやしを与えるとの指摘がある。

愛犬家にとって毎日の運動は欠かせないが、求められる運動量を補う

のに適した専用の場所がなく、道路を散歩する程度にとどまっている。飼い主のマナーを高めるためにもドッグランは好ましい施設ではないのか。

**平岡町長** ドッグランについては、犬にとっては日頃の散歩では発散されないストレス解消の場として必要との声も聞いている。

現在のところ県内市町村の自治体では設置しているところはなく、必要性について研究する。

窓口サービスの日時拡充について

**問** 少子高齢化が進み、町民のライフスタイルや職業、勤務形態の多様化が進む中、土日か夜間でなければ、窓口サービスを受けることができない方が増えてきている。

行政窓口の休日開業による多面的なサービス向上は、時代のニーズとしてますます望まれる。休日窓口業務の今後の拡充についてお聞きします。

**平岡町長** 必ずしも休日等の開業によらずとも、一定の要望にはお応えできるのではないかと考える。窓口サービスの考えとしては、住民サービスとの向上という視点から「コンビニ交付」等の選択肢を増やしていく。